

**平成 26 年度事業報告書**  
(平成 25 年 11 月 1 日～平成 26 年 10 月 31 日)

1. 登録会員数（平成 26 年 10 月 31 日付）は以下の通り

個人会員 : 323 人  
法人会員 A : 68 社  
法人会員 B : 5 社  
公益会員 : 4 社

2. 総会

(1) 平成 25 年 11 月 12 日に第 3 回定例総会が工学院大学新宿キャンパスにおいて開催され、次の事項が承認された。

- ①平成 25 年度事業報告及び収支計算書
- ②平成 26 年度事業計画及び予算案
- ③当学会の一般社団法人化に関し、次の事項が承認された。
  - ・設立趣意書
  - ・一般社団法人設立要項
  - ・一般社団法人環境放射能除染学会定款
- ④役員等の人事について

(2) 一般社団法人平成 26 年度第 1 回理事会及び第 1 回臨時総会

日時： 平成 26 年 1 月 10 日（金）

場所： 学会東京事務所

一般社団法人は、平成 25 年 12 月 19 日に登記が完了した。これに伴い、学会の体制を整えるため、第 1 回理事会及び第 1 回臨時総会を設立時社員・理事及び監事により開催し次の事項が承認された。

- ①学会諸規定について
- ②新法人への移行について：平成 26 年 1 月 31 日をもって任意団体の会員は社団法人の会員となる
- ③新理事、新監事の選任（新任の理事 26 人、監事 1 人）：資料 4 参照  
（設立時の社員・理事は、森田昌敏、石黒智彦、畑野浩の 3 名、監事は柴田康行、中川友夫の 2 名である。（以下（3）まで同じ。）

(3) 一般社団法人平成 26 年度第 2 回理事会及び第 2 回臨時総会

日時： 平成 26 年 1 月 23 日（木）

場所： 一般社団法人環境放射能除染学会 学会東京事務所

次の事項が承認された。

- ①副理事長選任の件；大迫政浩氏、田畑日出男氏を選任
- ②会長、副会長選任の件；会長に不破敬一郎氏、副会長に鈴木基之氏、塚田高明氏を選任

③学会広告の HP 変更

④東京事務所（新橋）を従たる事務所として設置

⑤定款変更の件：総会の招集等を電磁的方法によることができる旨の規定を追加

### 3. 講演会活動

平成 26 年度においては、次の 2 回の講演会を開催した。

#### (1) 第 7 回講演会

テーマ： 水系汚染の監視と対策（5 演題）

日 時： 平成 25 年 11 月 12 日（火）

場 所： 工学院大学 新宿キャンパス（参加者 187 名）

共催・後援団体： 公益社団法人日本水環境学会、NPO 法人 Ecolink21 環境国際総合機構、一般社団法人廃棄物資源循環学会、NPO 法人環境測定品質管理センター、日本放射線安全管理学会、一般社団法人日本環境化学会、一般社団法人土壌環境センター

#### (2) 第 8 回講演会

テーマ： 放射能汚染からの環境回復に向けて～情報通信技術を用いた総合的アプローチ～  
（8 演題）

日 時： 平成 26 年 2 月 12 日（水）

場 所： 東京大学 山上会館（参加者 71 名）

共催団体： NPO 法人環境測定品質管理センター、一般社団法人廃棄物資源循環学会、NPO 法人 Ecolink21 環境国際総合機構、公益社団法人日本水環境学会、一般社団法人日本環境化学会、一般社団法人土壌環境センター、日本放射線安全管理学会

### 4. 研究発表会

第 3 回研究発表会は、福島県郡山市の市民文化センターにおいて、3 日間（7 月 3 日～7 月 5 日）の日程で行われ、研究発表会、環境省との共催による国際シンポジウム等を開催した。研究発表会においては口頭発表 59 団体、ポスターセッション 80 件があり、国立環境研究所と日本原子力研究開発機構の企画セッション（8 件の発表）も行われた。またこれに並行して行われた企業展示には、環境省除染プラザを始め 59 社が参加した。

また最終日の 5 日には、海外より招聘した 4 名の講師を含め 6 名の専門家が講演を行った。講演者は、海外よりは、UNSCEAR を代表してオーストラリア放射線防護・原子力安全庁の S. Solomon 博士、ロシアサントペテルブルグ放射線衛生研究所 V. Ramazaev 博士、英国グラスゴー大学 A. Cresswell 博士、ノルウェー放射線放射線防護局 M K. Sneve 博士、我が国よりは環境省大臣官房審議官 平岡英治氏、環境省福島環境再生事務所長 関谷毅史氏であった。

日 程： 平成 26 年 7 月 3 日（木）～7 月 5 日（土）  
・ 3 日、4 日 研究発表会 （参加登録者 650 名）  
・ 5 日 国際シンポジウム （参加者約 200 名）

場 所： 福島県郡山市 郡山市民文化センター

共催団体： 一般社団法人廃棄物資源循環学会、公益社団法人日本保安用品協会、NPO 法人 Ecolink21 環境国際総合機構、日本放射線安全管理学会、郡山市、独立行政法人日本原子力研究開発機構、公益社団法人日本工学アカデミー、公益社団法人環境科学会、公益社団法人日本化学会、公益社団法人日本水環境学会、独立行政法人国立環境研究所

後援団体： 一般社団法人土壌環境センター、一般社団法人日本環境測定分析協会、公益社団法人地盤工学会、NPO 法人環境測定品質管理センター、一般財団法人日本環境衛生センター、日本商工会議所、日本放射化学会、公益社団法人高分子学会、福島市、一般社団法人日本原子力学会、環境省福島環境再生事務所、公益社団法人日本気象協会、一般社団法人日本環境アセスメント協会、一般社団法人日本機械学会、一般社団法人日本環境化学会、公益社団法人大気環境学会、公益社団法人土木学会、公益社団法人化学工学会、福島県、一般社団法人海洋調査協会、東京商工会議所

後援開催支援： 公益社団法人郡山コンベンションビューロー

国際シンポジウム共催： 環境省

## 5. 分科会の活動

分科会の設置とそれによる各種知見のとりまとめ等は学会発足以来の課題となっており、段階的に活動を開始することとした。現在次の 4 分科会について、参加希望者を募っている。

- (1) 総合戦略（復興プランニングを含む）分科会
- (2) モニタリング・観測・モデル分科会
- (3) 除染・湿式処理・水対策分科会
- (4) 熱処理・乾式減容化技術分科会

## 6. ジャーナルの発行

年 4 回の発行を行う。また、査読付き学術誌として十分権威のあるものとなるよう努める。

## 7. 一般社団法人への移行

環境放射能除染学会は任意団体から、一般社団法人へ移行した（平成 25 年 12 月 19 日登記完了）。また定款変更、新理事等の登記は一括して平成 26 年 6 月 4 日に完了した。

**平成26年度 収支計算書**  
平成25年11月1日から平成26年10月31日

一般社団法人 環境放射能除染学会

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差異(決算-予算)	備考
<b>I 事業活動収支の部</b>				
<b>1. 事業活動収入</b>				
① 会費収入				
個人会員会費収入	2,457,000	2,016,000	△ 441,000	
シニア会員会費収入	139,500	103,500	△ 36,000	
学生会員会費収入	76,500	49,500	△ 27,000	
法人A会員会費収入	10,350,000	11,250,000	900,000	
法人B会員会費収入	500,000	600,000	100,000	
公益会員会費収入	200,000	200,000	0	
② 事業収入				
研究発表会収入	9,500,000	10,935,830	1,435,830	
講演会費収入	1,260,000	681,160	△ 578,840	
講演会参加費収入	*1,200,000	*669,000		懇親会参加費含む
講演会予稿集広告・展示収入				
講演会予稿集売上収入	*60,000	*12,160		
講演会既刊予稿集販売				
学会誌収入	700,000	1,040,989	340,989	
既刊テキスト販売	80,000	97,012	17,012	
④ 雑収入				
受取利息収入	500	2,831	2,331	
その他雑収入	0	1,100	1,100	
<b>事業活動収入計</b>	<b>25,263,500</b>	<b>26,977,922</b>	<b>1,714,422</b>	
<b>2. 事業活動収支の部</b>				
① 事業費支出				
研究発表会支出	7,800,000	6,059,303	△ 1,740,697	
講演会費支出	800,000	890,041	90,041	
講演会印刷物支出		*310,128		
講演会通信運搬費支出		*1,480		
講演会運営費支出		*164,000		会場・会議費含
講演会謝金・旅費交通費支出		*145,323		
講演会雑支出		*269,110		懇親会費含
学会誌等刊行費支出	3,000,000	2,340,373	△ 659,627	
部会活動費支出	600,000	0	△ 600,000	
② 管理費支出				
人件費支出	4,800,000	4,188,383	△ 611,617	
アルバイト費用		*551,204		会計事務人件費
派遣人材費支出		*3,637,179		東京事務所人件費
福利厚生費支出	10,000	18,095	8,095	
ホームページ運営費支出	50,000	0	△ 50,000	
会議費支出	120,000	122,114	2,114	
旅費交通費支出	200,000	87,655	△ 112,345	
通信運搬費支出	420,000	454,471	34,471	運搬費含
消耗品費	600,000	598,251	△ 1,749	コピー機レンタル料含
事務所費支出	3,000,000	2,463,102	△ 536,898	水道光熱費含
支払手数料支出	0	72,564	72,564	
業務委託費支出	2,700,000	2,656,200	△ 43,800	事務支援
法人化費用	680,000	758,458	78,458	
雑支出	483,500	54,907	△ 428,593	予備費・図書費
<b>事業活動支出計</b>	<b>25,263,500</b>	<b>20,763,917</b>	<b>△ 4,499,583</b>	
事業活動収支差額	0	6,214,005	6,214,005	
<b>II 投資活動収支の部</b>				
1. 投資活動収入	0	0	0	
投資活動収入合計	0	0	0	
2. 投資活動支出	0	0	0	
投資活動支出合計	0	0	0	
<b>III 財務活動収支の部</b>				
1. 財務活動収入	0	0	0	
財務活動収入合計	0	0	0	
2. 財務活動支出	0	0	0	
財務活動支出合計	0	0	0	
<b>IV 予備費支出</b>	0	0	0	
当期収支差額	0	6,214,005	6,214,005	
前期繰越収支差額	13,475,539	13,475,539	0	
次期繰越収支差額	13,475,539	19,689,544	6,214,005	

## 貸借対照表

平成26年10月31日現在

一般社団法人 環境放射能除染学会

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
<b>(流動資産の部)</b>		<b>(流動負債)</b>	
現金	77,964	未払費用	581,648
普通預金	16,954,653	前受金	32,500
郵便貯金	1,604,180	預り金	12,252
前払費用	962,649		
未収入金	6,246		
<b>流動資産合計</b>	<b>19,605,692</b>	<b>流動負債合計</b>	<b>626,400</b>
<b>(固定資産)</b>		<b>(正味財産の部)</b>	
敷金	705,252	一般正味財産	19,689,544
差入保証金	5,000		
<b>固定資産合計</b>	<b>710,252</b>	<b>正味財産合計</b>	<b>19,689,544</b>
<b>資産合計</b>	<b>20,315,944</b>	<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>20,315,944</b>

## 財産目録

平成26年10月31日現在

一般社団法人 環境放射能除染学会

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的	金額
<b>(流動資産)</b>				
現金  普通預金   郵便貯金  前払費用 未収入金		つくば事務所保管	運転資金として	16,890
		東京事務所保管	運転資金として	61,074
		普通預金	運転資金として	14,758,036
		三井住友銀行つくば支店		
		普通預金	運転資金として	1,193,623
		三井住友銀行つくば支店		
		普通預金	運転資金として	1,002,994
	三井住友銀行自由が丘支店			
	郵便貯金	普通貯金	運転資金として	1,604,180
		ゆうちょ銀行		
			次年度研究発表会会場	962,649
			要旨コピー販売(研究発表会・講演会)	6,246
<b>流動資産合計</b>				<b>19,605,692</b>
<b>(固定資産)</b>				
その他固定資産	敷金		東京事務所	705,252
	差入保証金		つくば駐車場	5,000
<b>固定資産合計</b>				<b>710,252</b>
<b>資産合計</b>				<b>20,315,944</b>
<b>(流動負債)</b>				
未払費用  前受金 預り金		学会誌支出	印刷・運搬・人件・交通・消耗品費等	92,558
		管理費支出	運搬・人件・交通・消耗品費	489,090
			H27年度会費	32,500
			源泉所得税	12,252
<b>流動負債合計</b>				<b>626,400</b>
<b>負債合計</b>				<b>626,400</b>
<b>正味財産</b>				<b>19,689,544</b>

**平成 27 年度事業計画書**  
(平成 26 年 11 月 1 日～平成 27 年 10 月 31 日)

1. 登録会員数について

学会の発展と安定的な運営に資するため、会員の着実な増加を目指す。

当面目標とする会員数は以下の通り。

個人会員：350 名

法人会員A：75 社

法人会員B：6 社

公益会員：5 社

2. 第 1 回定時社員総会

第 1 回定時社員総会を平成 26 年 11 月 28 日（金）東京海洋大学 楽水会館において開催。

3. 講演会

年 2 回の講演会を予定している。

・第 9 回講演会

第 1 回定時社員総会に併設して実施

テーマ： 「海と放射能」

日 時： 平成 26 年 11 月 28 日（金）

場 所： 東京海洋大学 楽水会館

・第 10 回講演会

具体的なテーマは検討中であるが、平成 27 年度期内に実施予定。

4. 研究発表会（国際シンポジウム併設）

第 4 回研究発表会を東京都江戸川区船堀において開催予定。

日 時： 平成 27 年 7 月 8 日（水）～10 日（金）

場 所： タワーホール船堀

5. ジャーナルの発行

ジャーナルの発行については、年 4 回発行。

6. 分科会活動

分科会の設置とそれによる各種知見のとりまとめ等は学会発足以来の課題となっており、段階的に活動を開始することとした。現在次の 4 分科会について、参加希望者を募っており具体化を進めている。

(1) 総合戦略（復興プランニングを含む）分科会

- (2) モニタリング・観測・モデル分科会
- (3) 除染・湿式処理・水対策分科会
- (4) 熱処理・乾式減容化技術分科会

## 平成27年度 予算書

平成26年11月1日から平成27年10月31日

一般社団法人 環境放射能除染学会

科 目	27年度予算	前年度予算額
<b>I 事業活動収支の部</b>		
<b>1. 事業活動収入</b>		
<b>① 会費収入</b>		
個人会員会費収入	2,466,000	2,457,000
シニア会員会費収入	103,500	139,500
学生会員会費収入	49,500	76,500
法人A会員会費収入	10,500,000	10,350,000
法人B会員会費収入	600,000	500,000
公益会員会費収入	200,000	200,000
<b>② 事業収入</b>		
研究発表会収入	9,500,000	9,500,000
講演会参加費収入	800,000	1,200,000
講演会予稿集売上収入	20,000	60,000
学会誌収入	700,000	700,000
既刊テキスト販売	100,000	80,000
<b>④ 雑収入</b>		
受取利息収入	3,000	500
その他雑収入	0	0
<b>事業活動収入計</b>	<b>25,042,000</b>	<b>25,263,500</b>
<b>2. 事業活動収支の部</b>		
<b>① 事業費支出</b>		
研究発表会支出	7,450,000	7,800,000
講演会費支出	900,000	800,000
学会誌等刊行費支出	3,000,000	3,000,000
部会活動費支出	600,000	600,000
<b>② 管理費支出</b>		
人件費支出	5,500,000	4,800,000
福利厚生費支出	20,000	10,000
ホームページ管理・維持費支出	50,000	50,000
会議費支出	122,000	120,000
旅費交通費支出	200,000	200,000
通信・運搬費	450,000	420,000
消耗品費	600,000	600,000
事務所費支出	3,330,000	3,000,000
支払手数料支出	70,000	0
業務委託費支出	2,700,000	2,700,000
法人化費用	0	680,000
雑支出	50,000	483,500
<b>事業活動支出計</b>	<b>25,042,000</b>	<b>25,263,500</b>
<b>事業活動収支差額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>II 投資活動収支の部</b>		
1. 投資活動収入		
投資活動収入合計		
2. 投資活動支出		
投資活動支出合計		
<b>III 財務活動収支の部</b>		
1. 財務活動収入		
財務活動収入合計		
2. 財務活動支出		
財務活動支出合計		
<b>IV 予備費支出</b>		
当期収支差額		
前期繰越収支差額		
次期繰越収支差額		